



南谷理事長からミシンを寄贈  
左：南谷理事長 右：佐々木事務局長代理

「そらぶちキッズキャンプ」のコンセプトはわたしたちの活動に通じるものがあり、入院して治療を受ける子どもたちが、

子どもと家族を癒すファミリーハウス運動の原点は、「病院近くの第二のわが家」と言われるように、知らない土地で入院して治療を受ける子どもたちとその家族が、経済的負担が少なく安心して病院近くの滞在施設で家庭で過ごすような時間を得ることにあります。加えて、付き添い家族が病院での疲れを一時的に癒す場所にもなっています。わたしたちはこの原点を大切にしながら、もう一歩踏み込んだ活動として病院内での催しを企画し治療に頑張っている子どもたちの笑顔づくりの取り組みをしてきました。



車椅子なども用意されています

「そらぶちに行きたい！」と思い、そのことが治療の励みになり、ひとときでも病気のことを忘れ、自然の中で「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることができそうです。家族も医療のバックアップが整っている専用の施設で安心して参加できるため、家族の休息にも繋がる効果が期待できます。これらことから、ファミリーハウスの新たな活動領域として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援することを総会に諮り決定しました。



医療体制は医師のボランティアなどが支える

# 「そらぶちキッズキャンプ」の活動を支援しています



北海道ファミリーハウス

— NPO 法人 —

北海道

# ファミリーハウス通信

2013年3月15日発行/No.11

発行：NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者：事務局長 大西 可奈  
060-0807札幌市中央区北7条西6丁目  
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/



裏面もご覧ください

<http://www.solaputi.jp>

御礼の品は、ファミリーハウスに飾らせていただきます。「パンダハウス」の皆さん、ありがとうございます。

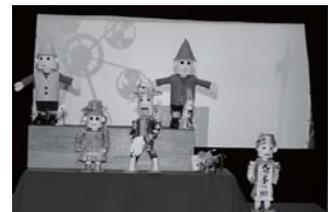


かわいいイラストに綺麗に色づけされています

東日本大震災から二年が経ちました。あの大災害に際し私たちは、福島市にある「パンダハウス」に飲料水や子供用のタオルなどの支援物資を贈りました。この度、その御礼として、子どもたちが描いたフレーム付きのイラストやボランティアの皆さんが手作りした巾着袋などが届きました。

## 福島市

### 「パンダハウスを育てる会」から いただきました



人形劇と影絵の一幕

毎年恒例となっている北大病院のイベントで、「人形劇と影絵」を上演しました。イベントには大勢の子どもたちが集まり、楽しいひと時を過ごしました。この他にもクリスマス会なども行いました。



たくさんの方に見ていただきました

「人形劇と影絵」を上演

■北大体育館■